



このたびは NAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

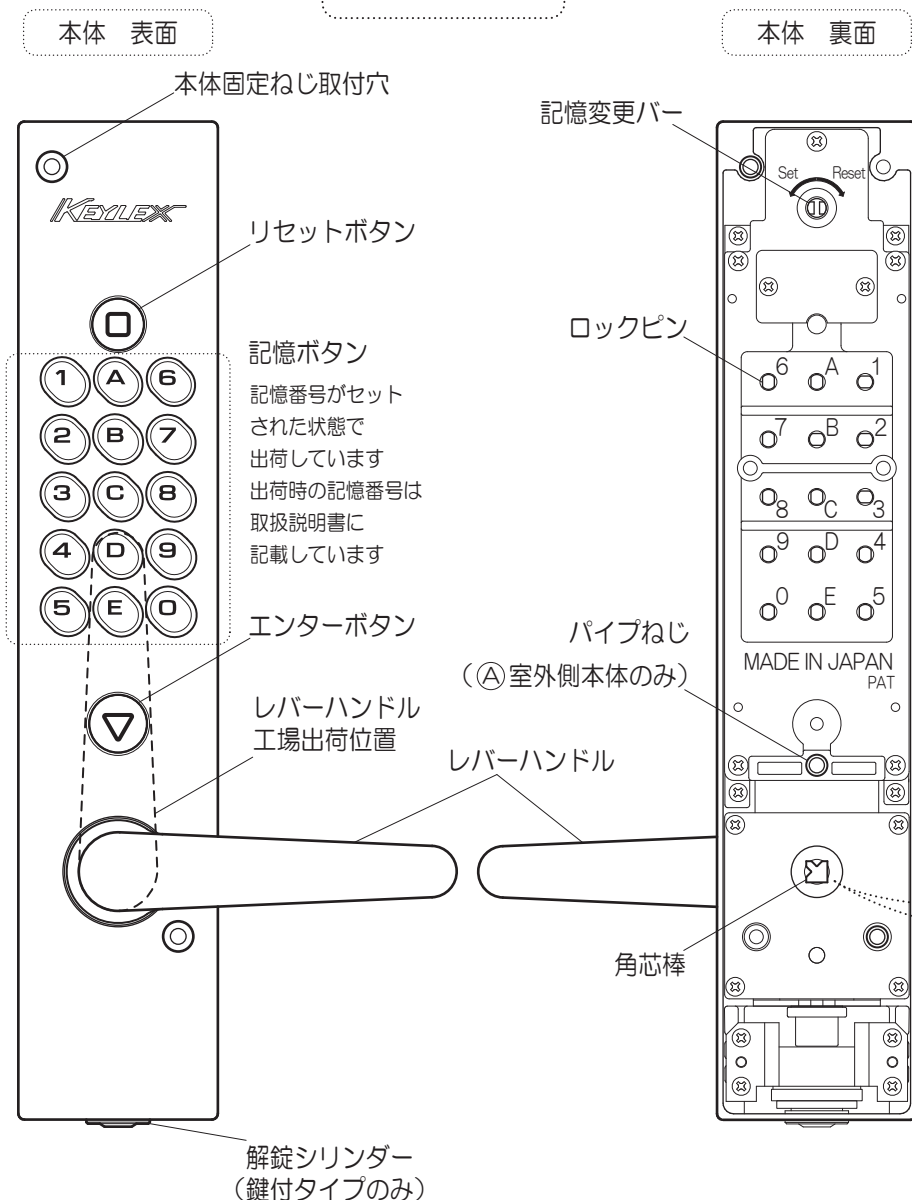
自動施錠 両面ボタン 取付説明書

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

<p>パイプねじ 3本</p> <p>① 室外側本体 (底面マーキングなし) 1</p>	<p>パイプねじ 2本</p> <p>② 室内側本体 (底面マーキングあり) 1</p>	<p>③ 本体固定ねじ 長さ 55 mm 4</p>	<p>④ 両面用ねじ受け 1</p>	<p>⑤ 本体仮止めねじ 長さ 20 mm 1</p>	<p>⑥ ADS 錠 set 1</p>	<p>⑦ 受座 set 1</p>	<p>⑧ 錠・受座取付ねじ 長さ 25 mm 4</p>	<p>⑨ 六角穴付きねじ (レバー仕様のみ) 長さ 8 mm 2</p>	<p>⑩ 六角レンチ (レバー仕様のみ) 1</p>	<p>⑪ 取扱説明書 set 1</p>	<p>⑫ キー (⑬に同梱) (鍵付タイプのみ) 2</p>
--	--	--------------------------------	------------------------	---------------------------------	--------------------------	-----------------------	----------------------------------	--	------------------------------------	--------------------------	--

1 各部の名前

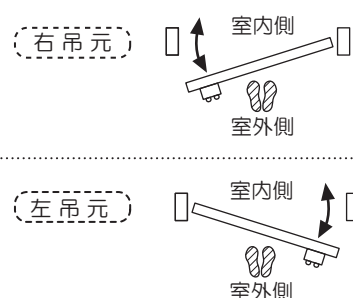
② 室内側本体のみ



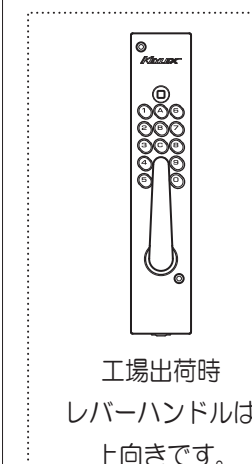
2 取付前の準備： ⑤ 作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

【1】扉の吊元の確認

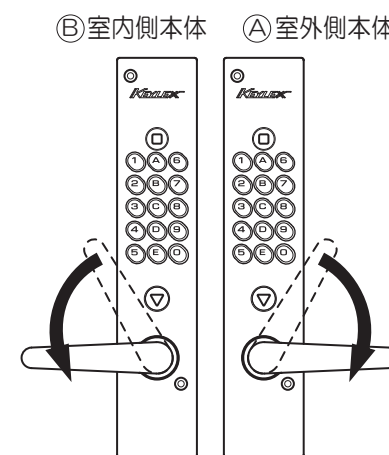
室外側から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。



【2】① 室外側本体② 室内側本体のレバーハンドルを、左右対称に向きを変え固定します。



レバーハンドルの向きは対称にセットします。
(本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。)

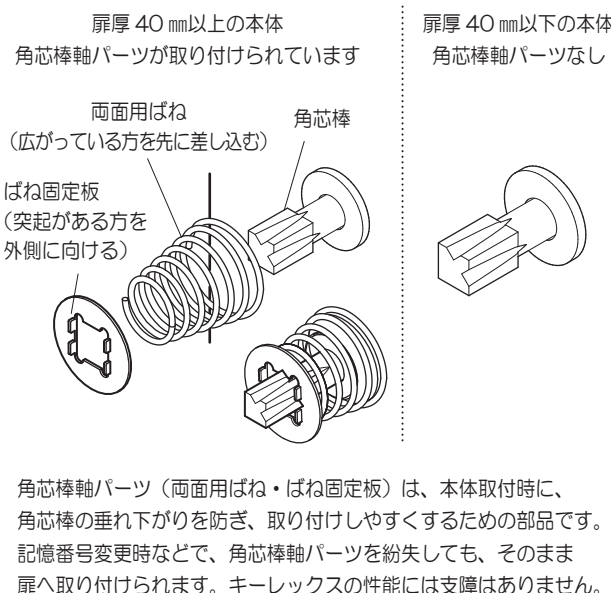


- リセットボタンを押します。
 - 吊元に合わせて、レバーハンドルを 30 度傾け、レバー座金下穴とレバー軸タップ穴を合わせたまま、
 - ⑨ 六角穴付きねじを、⑩ 六角レンチで固定します。
- ※：⑨ 六角穴付きねじをセットすると、逆吊元へのレバー操作は出来ません。ご注意ください。

IV：レバーハンドルを吊元に合わせて正常な位置に向きを変えます。安全装置が作動しますので、強い力で向きを変えます。レバーが横向きになれば完了です。

V：リセットボタン、現在の記憶番号、エンターボタンを押します。レバーハンドルを下向きに動かし戻す事を確認します。

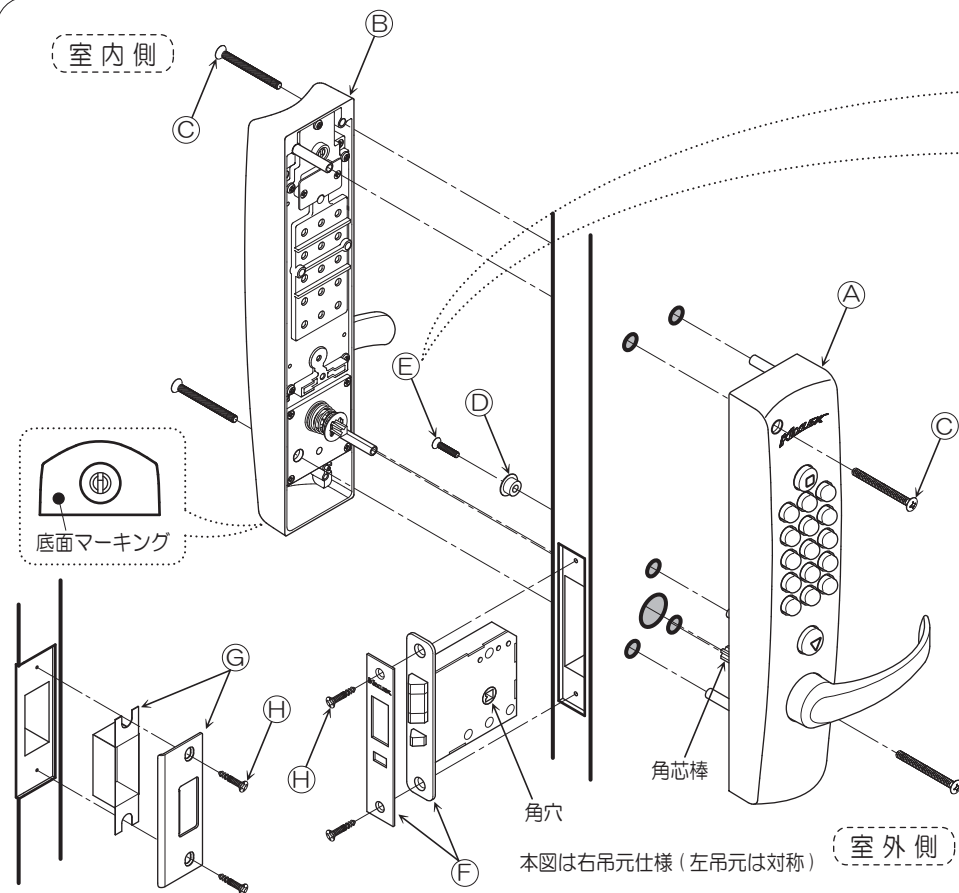
VI：① 室外側本体② 室内側本体のレバーハンドルの向きは左右対称にセットします。



3 扉への取り付け穴加工

Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体・Ⓔ ADS 錠 set・Ⓕ 受座 set の取り付け穴加工をします。
(KL4000 自動施錠 両面ボタンタイプ専用切欠図参照)

4 ADS 錠・受座・キーレックス 4000 両面ボタンの取り付け



※ Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体の記憶番号を変更するときは、ここでおこないます。
右欄『記憶番号の変更方法』参照

※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

I: Ⓔ ADS 錠 set を、Ⓖ 錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

II: Ⓕ 受座 set を、Ⓖ 錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

III: 室外側に、Ⓐ 室外側本体（裏側パイプねじ 3 本・底面マーキングなし）をセットし、
Ⓗ 両面用ねじ受けと、Ⓖ 本体止めねじで固定します。

IV: 室内側に、Ⓑ 室内側本体（裏側パイプねじ 2 本・底面マーキングあり）をセットし、
Ⓖ 本体固定ねじ 2 本で、Ⓑ 室内側本体を固定します。

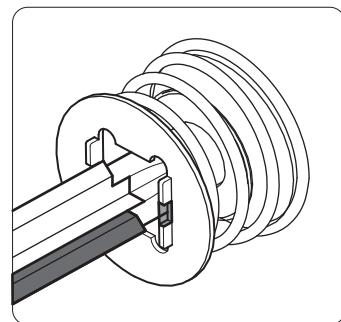
V: Ⓖ 本体固定ねじ 2 本で、Ⓐ 室外側本体を固定します。

※: 取り外しの時は、底面マーキングありの、Ⓑ 室内側本体を外してから、仮固定してある Ⓐ 室外側本体を外します。

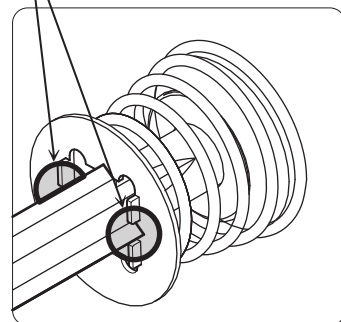
【扉厚 40 mm 以上の場合】

Ⓐ 室外側本体、Ⓑ 室内側本体 裏側の
角芯棒軸パーツのばね固定板の位置を調整する

① ばね固定板を角芯棒の根元まで押し込み、
ばね固定板を45度回転させて
ばね固定板の突起と突起の間 ■ に
角芯棒の角 ■ をセットする。



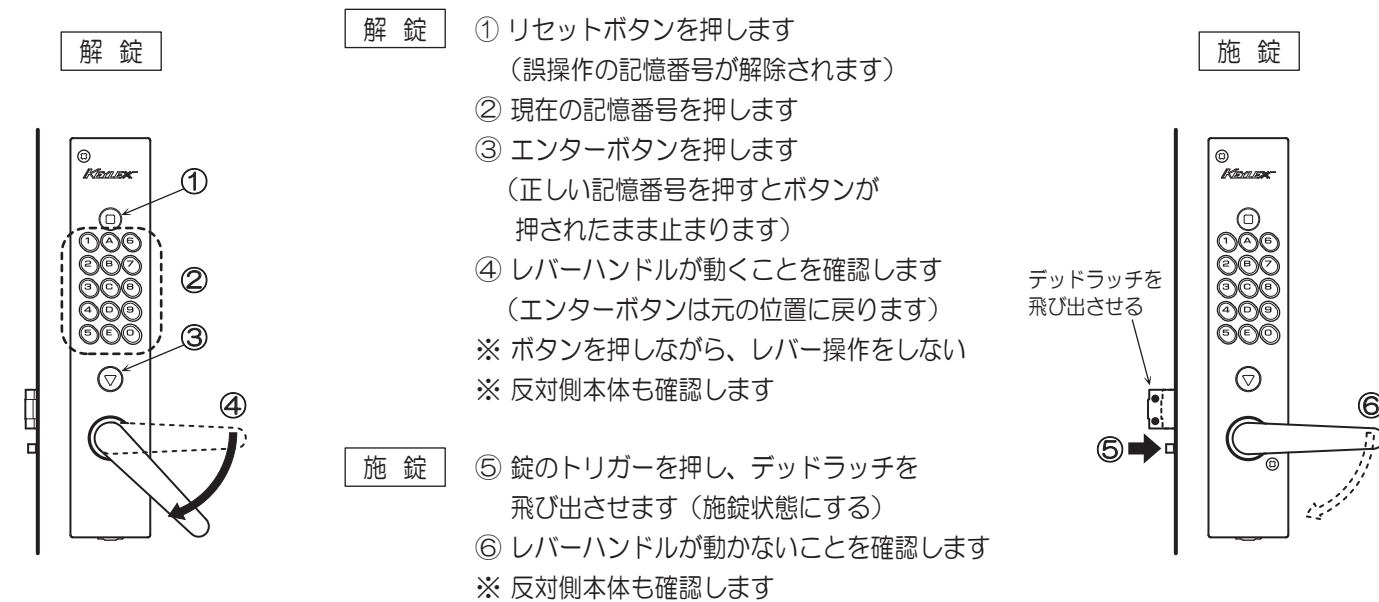
② ばね固定板を動かしながら位置を調整し、
ばね固定板の突起と突起の間、
対角2か所それぞれに角芯棒の角が
嵌め込まれているのを確認する。



5 作動確認: レバーハンドルが作動しない場合は、② ④ をもう一度確認してください。

72619301

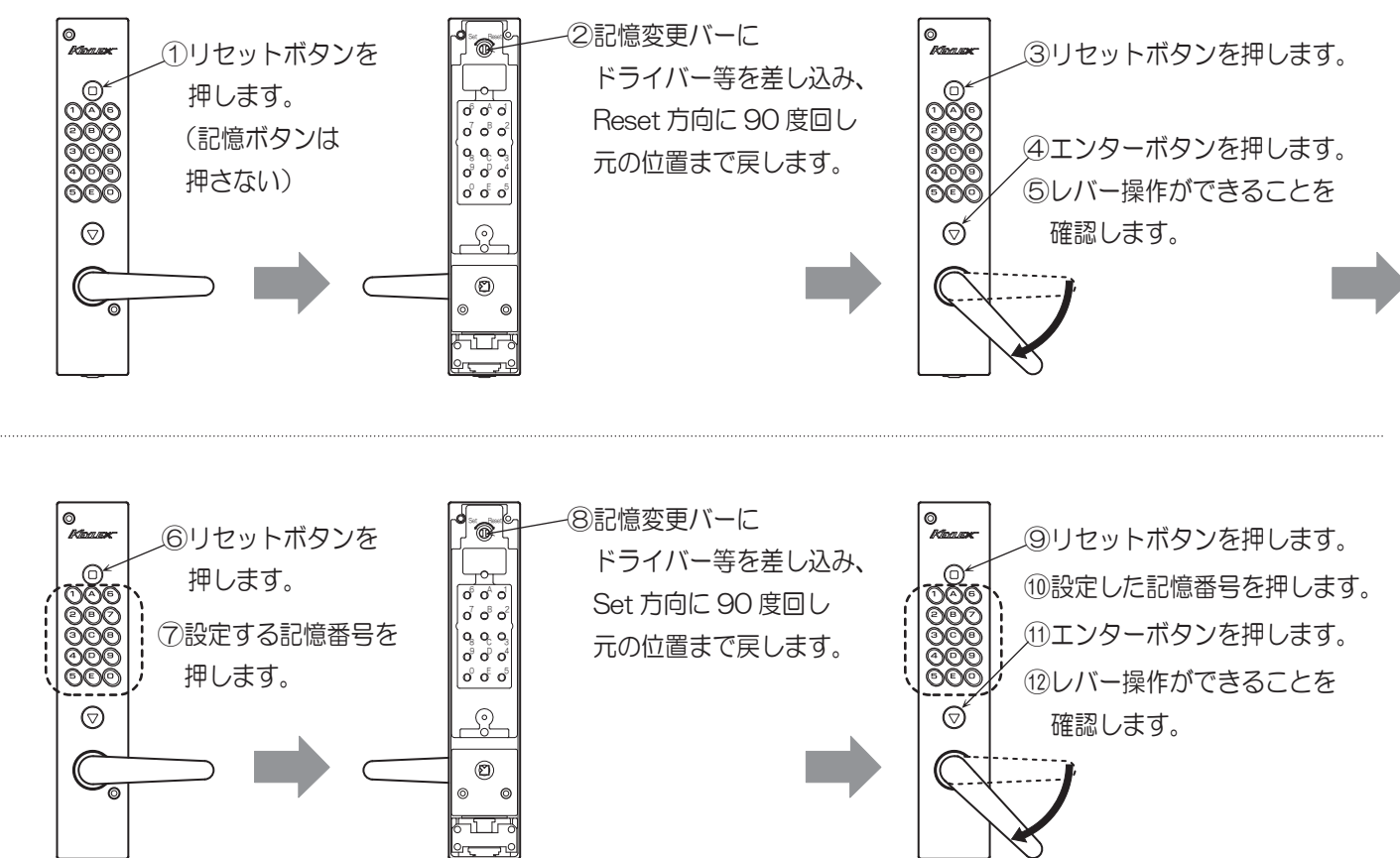
本体は Ⓐ 室外側本体・Ⓑ 室内側本体とも確認します



鍵付タイプの場合は、ボタン操作を行わずに、キー操作でも解錠できます。

解錠: ① 解錠シリンダーにキーを入れて回し、デッドラッチが引き込まれることを確認します。

記憶番号の変更方法: 取り付けと逆の順序で扉から取り外して記憶番号の変更をします



⑬ ④ 取り付けと ⑤ 作動確認をします。

⑭ 新しい記憶番号を必ず記録します。別紙取扱説明書 1 ページに記入欄があります。

NAGA
SAWA

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

www.nagasawa-mfg.co.jp